

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅲ D					単位	2.0
担当教員	鶴田 禎人						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4415

●授業のテーマ

社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術についての実践的習得

●到達目標

相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として理論的に体系立てて理解したり説明できるようになる。

●学習内容(授業概要)

具体的な相談援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)や体験学習を中心とした演習形態により、個別指導並びに集団指導を通して、ソーシャルワークの実践的な支援技術を学ぶ。

- ・ コミュニケーション技法等を用いて専門的援助関係を形成する面接技術がマスターできている。
- ・ 具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技がマスターできている。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション(何を学ぶか、到達点を明確化する)
2. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「社会的排除」事例を中心として
3. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「児童虐待」事例を中心として
4. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「高齢者・障害者虐待」事例を中心として
5. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「家庭内暴力(D・V)」事例を中心として
6. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「低所得者」事例を中心として
7. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「低所得者」事例を中心として
8. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「ホームレス」事例を中心として
9. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「権利侵害など危機状態にある」事例を中心として
10. 相談援助事例を活用した相談援助場面及び相談援助の過程を学ぶ — 「介護・在宅生活困難」事例を中心として
11. 相談援助事例を活用した事例研究法を学ぶ
12. 相談援助事例を活用した効果測定の方法を習得する
13. 相談援助事例を活用した支援過程におけるチームアプローチ・ネットワーキングの方法を習得する
14. 相談援助事例を活用した支援過程におけるアウトリーチおよび社会資源の活用・調整・開発の方法を習得する
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマ事に、自分の体験した分野での実習との違いや共通点をまとめておく。授業後は、テーマに沿って関連する領域についてさらに調べておく

●成績評価方法・基準

小レポート (25%) 議論の進行・内容 (25%) 発表及び内容 (50%)

●テキスト (必携)

事例集を配布する他、演習の中で指示する

●参考文献／その他

演習時に指示する

●履修上の注意

毎回出席し、グループでの討議に参加することを通じ、さまざまな意見の存在と自分の意見との違いを認識する